

# 自転車ツーリング

山本 邦夫



## その「0」自転車乗りの「どこでもドア」、<sup>りんこう</sup>「輪行」とは

自転車ツーリングと聞くと、食うや食わずの貧乏旅行を想像する方が多いのではないのでしょうか？ 確かに、私たちの世代が若い頃、自転車で旅することは、時間はあるがお金がない、学生がアルバイトしながら日本一周する、というようなことに象徴されていました。

現在、仕事を持っている私にとって、自転車でなくても、何カ月も旅するようなことはできません。そこで今回紹介させていただくのは、「輪行」という移動手段です。

左の写真をご覧ください。

3本ある本四架橋の内の一番東側に位置する「しまなみ海道」の出発点、広島県の尾道です。

写真に写っている3人に私を加えた4人で、これからしまなみ海道を走破するところです。

だからと言って、我々はここまで自転車で走ってきたわけではありません。

輪行という手段を使って、楽々と尾道にたどり着きました。

「輪行」という言葉は、国語辞典には載っていない自転車用語です。

外国では、自転車をそのまま鉄道に乗せられる国が多く、自転車旅行も気軽にできるのですが、日本の交通機関は混雑しているため、自転車をそのまま鉄道やバスに乗せてくれることはありません。そこで、日本独自で自転車を交通機関に乗せるための方法が輪行です。

## 輪行の手順

- ①自転車の前後輪を外し（簡単に外れます）、フレームを外した前後輪で挟み込む形で、3本のベルトを使って固定します。



- ②固定された車体を、袋で包み込むようにチャックを閉めます。



この通り、自転車はすっかり袋に収まりました。この状態であれば、飛行機の預け荷物として無料で運んでもらえますし、鉄道にも乗る事ができます。



これで、走りたい場所まで交通機関に乗って移動し、走りたい場所だけ走る事ができます。これが、自転車乗りのどこでもドア、「輪行」です。次回は、冒頭の写真でお見せした、しまなみ海道ツーリングをご紹介する予定です。